

STORAGE PLAN OF HUMANKIND

idea sheet / 2011.12.15. edit

Artist / Nobumasa Takahashi

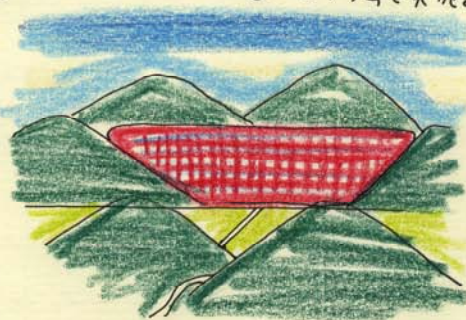
e-mail. 8@nobumasatakahashi.com <http://www.nobumasatakahashi.com/>

人類保管計画 (仮) (日本国 民族) 宇宙船造船計画 1/6

NOBUMASA TAKAHASHI
2011, 12, 15, 月 日 時
IDEA SHEET



日本国の地方過疎化地区に巨大な宇宙船 (実際に宇宙にあってもいい) を建造する。
中では、実際に街をつくりだし、一万人規模の人口がここで生活するプログラムを実施。



これは、日本国の地方過疎化対策であり、
東日本大震災を受けての防災対策であり、

未来への生活順応実験であり、
宇宙船造船という産業対策であり、

社会問題でもある。オタク+ニート対策である。

もちろん、エンターテインメントをふくんだ、美しいアート作品でもある。



↓つづき

土地方過正疎化を考へる

人数保管計画
+
宇宙船造船計画

NOBUMASA
TAKAHASHI
IDEA
SHEET
2011.12.15.

なぜ、若者は、東京に集まるのか？

時間軸で考えてみると、東京は未来である。

2/6

メール一本で何でもそろらし、

手の届く範囲に必要なものは何でもある。

人と出会うスピードもはやく、失敗しても何度でも

やりなおすことができる。

人が多いため、人生の大チャンスも

自動的に何度かやってくる。

知識と人のつながりがあれば、

生きていくお金をかせぐのもそんなにむずかしいことではない。

冬あつくなり、夏あつくなり、外に出るのはレジャーのみ。



そんな東京からみると土地方は、"現在"ではなく、"過去"である。

十数年という少ない時間差なので、同じように見えるが、

極端な話をすれば「今、石器時代の生活をしたい人」は、

いないだろう。

理論上、便利な所(合理的)から不便な所(不合理的)へ行くことは、
大人数では不可能である。

少人数だが、昔の生活を体験してみたいと考える人々もいる。

しかし、未来の便利な生活に小慣れた人々が、
対応できないとは考えづらい。

極端に言うと「今の人には石器でアモスを採り出すことはできないのだ」。

では、上記をふまえ、

土地方過正疎地帯に未来人達を移動するには、どうするか？

“土地方に東京よりもさらに未来をつくる”

地方により便利で安全、楽に生活のできる未来の居住空間をつくらせれば、
人口比率も時間軸で考えた場合、うまくいきそうだ。

あとは移動する人々や人口を移動する理由付けが必要になる。



※注意：この時点では、その土地本来の形を維持することにはなっていません。のちほど。

つづき ↓

宇宙船造船プロジェクト

震災国としての防災対策
↓つづき

人類保管計画
+
宇宙船造船計画
NOBUMASA TAKAHASHI
2011.12.15. 日 W
IDEA SHEET

3/6

未来宇宙で生活するようになれ!!

巨大な宇宙船は、往々として機能するようになる。

近い未来、人類は宇宙へ飛び出す。

なのに大規模な準備は、まだまだはじまっていない。

こんな時代に日本国が、こんなプロジェクトを奨励したら、

単純にこちがよい。

この宇宙船は形だけでなく、本当に宇宙にあっても壊れない強度のある

本物をつくる。

日本の造船力 (世界中) と科学力を結集させて、未来の船をつくるのである。

今回の企画では、ロケットのように重力をふりきりて宇宙まで

飛び上がる力はなくてよい。

宇宙で建造された場合、宇宙船として実際に使えるレベルには

立証すべきだ。

中の作りが横になっても
平気とか。



通路が
あるとか。

強度がほしいわけは、

震災国日本においての防災対策をかねていた。

造船ではなく造船"あるところ"がミソで、津波や土地が無くなっても

(土地球にたよらず、) 人間の力だけで生きられる様したい。

"往々"とすることで、文化、産業、民族の金貨をまもる

三エルトーの役割をあたえたい。

各地域に

造船していかば、地域的情報を守ることになる。

民族、小情報。未来のノアの箱舟というわけだ。

また、宇宙船にしたことで、出入口でのチェック体制は、万全になる。

密封空間を上、

そう、放射能対策になりうるのである。

完全な健全な種を保管することも未来への夢となる。

人類保管庫

つづ↓

宇宙船内での生活対応実験

人類保管計画

宇宙船送船計画

NOBUMASA TAKAHASHI

2011.12.15. @W

IDEA SHEET

つづき↓

この宇宙船内は、東京よりも安全で、便利で快適な空間であり、
一万人近い人々が生活をする一つの街である。

また、宇宙船内の閉ざされた空間で人々の生活が可能なかどうかの
立証実験もかねることになる。

この街に住む人の人選は、種の保管という観点から、有能な人、
(1Pの箱角)

健全な人、サマツルになる人など、招聘されてゆく気はしないだろう。

これにより、現在東京一ヶ所に集中する若者や能力者達が、
各土地へ分散される。それにより、各土地での特小生がたまため、

独自の開発や発想が生まれるにちがいない。

また、宇宙船内という閉鎖空間での生活により、

今まであじわったことのない問題が発生する。

これにより、今までと違う製品や使用方法、考え方も
成立するだろう。

実験することにより、学者の偏った考えだけでなく、一般の人々の
リアリティを持つた形が生まれるはずである。

特に服や美術、文化の新規開拓は、めまぐるしいはずだ。

快適空間イメージ



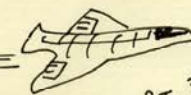
船内では、タイよりも
早く使える通信方法が
できるはず。



さんそマン

おかしな化学も
は、たっ
する？

都心部や各宇宙船
とは、三つに便が頻繁に
行来している。



なので、荷物もすぐとどく。
バイク便より早く、たりする。

ちゅうとはんばな都心の
学校や勉強なども
有能な先生をつめてくれる。
手のとどく範囲にすべてある。

つづき↓

オタクとニートのエリート化

人類保管計画

宇宙船造船計画

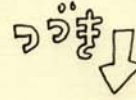
NOBUMASA TAKAHASHI

2011.12.15. @ MN

IDEA SHEET

宇宙船内の活動に制服を採用すれば、

リアルコスプレ村が可能となる。



5/6

エンターテインメント小生を上げて、『土曜に不時着した宇宙船』という

考え方を試してみよう。

設定をほぼこいてもおもしろい。

外に出ることができな空間でオタクとニートは、

エキスポートではないか!!

現在の社会システムでは役立たずだが、

未来の空間では、エリートになつてしまふかもしれないのだ。

日本中、世界中のエリートオタク、ニートを集めよう!!

簡単に外に出れないうことは、仕事の考え方、仕事も変わる。



「とんでもない」が開発されるまでは、

何万光年離れても、仕事が成り立つ形等が考えられるであろう。

現在のシステムでは、「はやりこ」が重要されるが、

小情報がとどくのが、2世代後などになるもっと広大な世界では、

はやく結果が出る事柄(変化の早い)よりも、時が経ても変わらない

小情報や伝わる事柄が重用だと分かる。

この未来世界では、化学、産業より、文明や文化を生み出すことが

仕事の大半となるだろう。

日本は本来この分野に長けているはず...

長い期間で考えてみれば、現在の社会でもそうあるべきだ。

世界はどんどん未来へ行く。か、てに進んでいく。

今にしがみついたらそこは過去になってしまう。

本当の仕事とは何かをしっかりと考えよう。

今回は、文明文化に力を使うことが、

未来では重用であると考えたわけです。

もちよ つづき ↓

土地方本来の形を とりもどせるのか!!

6/6
35% ↓

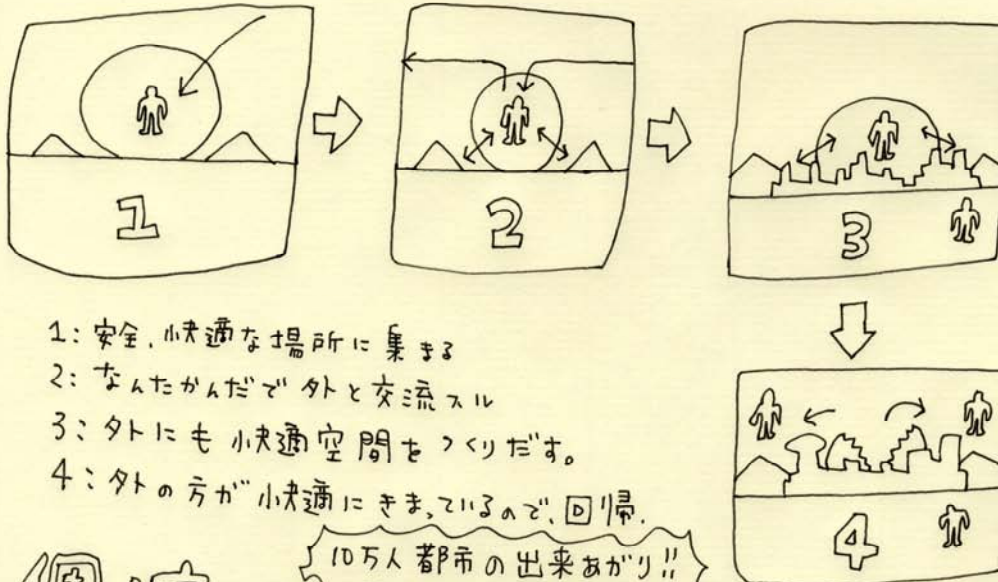
人類保管計画
+
宇宙船避難計画
NOBUMASA TAKAHASHI
2011.12.15. W
IDEA SHEET

この企画では、本来の土地の良さが失われてしまっているのでは？
どちらみち、このまま過疎化が「続けば」失われる。
こんなと、ひもな「宇宙船」が「来たら、反発心で」本来の生活を続ける人も出てくる
かもしれない。

それは、より良「開いた」。

しかし、私は「無くなる」と考えた。なので、保管するのである。

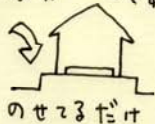
土地の方言や人格、情報として一番の保管場所は人間である。
その人間を守ることを考えた。



個室も宇宙船に

10万人都市の出来あがり!!

東日本大震災をうけて、
家が「流されて」いるのを見て、



のせろだけ

なんて無防備なんだろうかと思、た。
土にのせるだけなのであれば、(家の形で「も良、い」)

カプセル開、にしてしま、たらどうだろう。密封でき、る、強度もある。

そう、小型の宇宙船だ!! つなみがきても近、く、緊急時には
ここに「移、動、してきて、家に「入、れば、大丈夫。」



すぐに住めるので「仮設住宅などの不足も
なくなる。密封なので、あ、た、が、い、い、

ながされても中に「い、れば、大丈夫。」

国が「大量生産すれば、
安価で「出、き、そう、だ、